

平成28年度愛知県学校図書館研究会高等学校部会 名瀬地区第2回研究会・夏季司書部会研究会<報告>

はじめに

平成28年7月29日（金）、愛知県立愛知総合工科高等学校にて、名瀬地区第2回研究会・夏季司書部会研究会を開催しました。

午前中に、会場校の施設・図書館見学及び分科会を実施し、午後には「本の修理講座」を企画しました。愛知総合工科高等学校には、準備から当日の運営に至るまで、多大な御協力をいただき、大変充実した研究会となりました。



1 愛知県立愛知総合工科高等学校施設・図書館見学（10:00～10:40）

愛知総合工科高等学校は、平成28年4月に開校し、現在1年生のみ（400名）で教育活動が行われています。図書館はまだ整備途中であり、書籍はほとんど配架されていません。本が入る直前の新築図書館を見学する機会はめったになく、併せて学校の施設全体を見せていただけるということで、今回の企画は期待が大きく、50名近くの参加者数となり盛況を呈しました。



DVDによる学校紹介を観た後、愛知総合工科高校の先生方に案内していただき、校内施設を歩いて見学することができました。当然ながら全ての設備が真新しく、県立高校というよりは大学の新キャンパスか企業のオフィス兼生産工場を彷彿とさせる、先進的なデザインとなっています。そこには、「工科」を象徴する金属のフェンスやコンクリートの建物と、「自然」の象徴である木や植物のイメージが巧みに融合され、学校の目指す方向性が感じられました。授業用と思われる小型のパワーショベルや電気自動車も、天井の高い屋内空間に配備され、ハード面の充実ぶりを窺わせます。

図書館については、一部の雑誌は並んでいましたが、書籍はまだ入っていません。今後の配架に備え木製の書架が用意され、スペースに富んだ自習用のブースも数多く設置されています。机の配置に工夫が凝らされ、空間をより広く感じさせる作りになっているようです。2，3年後の図書館の姿を想像すると楽しみです。入学希望者が大幅に増え、立派な人材を輩出する学校になっていくことを期待します。

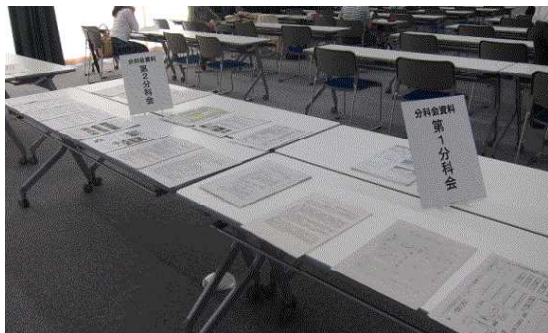
(施設)



(図書館)



2 分科会 (11:00～12:00)



の参加者のコメントを抜粋したものです。

第1分科会：「他校の仕組みがわかり、参考になった」、「各学校の現状を知ることができた」、「他の学校の図書館の工夫を知ることができ、興味深かった」、「文庫本の回転棚は手にとりやすくて良い」、「もう少し時間が確保されていると良かった」。

第2分科会：「授業と図書館との連携は容易ではない。調べ学習で図書館を使ってもらう際には、事前に資料を揃えておきたいのだが、実際には何が必要になるか分からないことが多い」、「授業や調べ学習で、積極的に図書館を活用している学校は少ないようだ」、「どの学校でも悩みは同じだった。授業や調べ学習での活用について、こちらから提案していくのも大切」、「時間が短かったため、各校の様子を聞くだけで終わってしまった」、「熱意を持って、積極的に利用を促すしかない」。

第3分科会：「知らないサイトを紹介してもらい、とても役に立った。プロジェクタとパソコンで画面を投影し、それを見ながら討議できたので分かりやすかった」、「他校の選書参考サイトを知ることができて参考になった」。

第4分科会：「各校と情報交換がしっかりできた」、「廃棄については、どこの学校でも課題となっている」、「参加は6校の先生方だけだが、人数が少ない分、詳しく話し合うことができ、有意義な時間を過ごすことができた」、「図書の購入、廃棄について情報交換することができた」、「各学校の問題点がわかり良かった」。

(第1分科会)



(第2分科会)



(第3分科会)



(第4分科会)



3 本の修理講座 (13:30~15:50)

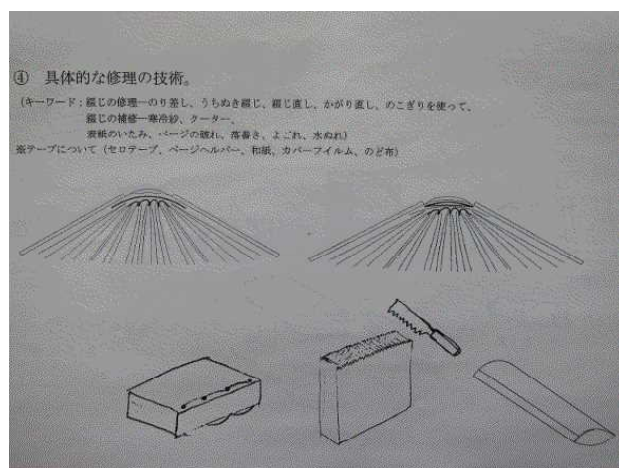
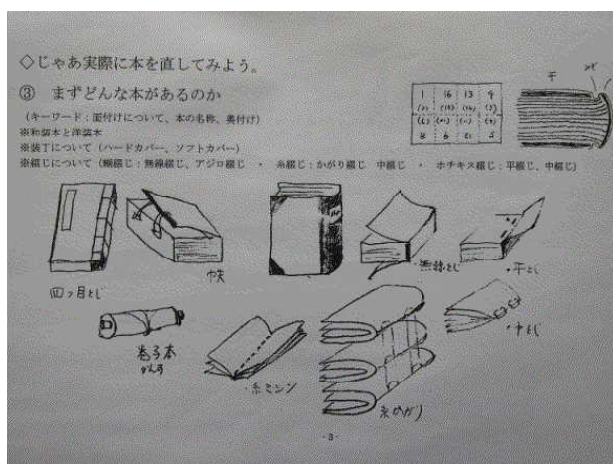
午後は、田中稔氏を講師にお招きし、「大切な本をいつまでも一本の構造から修理まで一」という演題で、講話及び実演を行いました。岐阜市在住の田中氏は、製本・図書館用品販売を営まれており、一級製本技能士、職業訓練指導員（製本科）、図書館司書等の資格をお持ちです。

素朴で気さくなお人柄で、講話も日頃図書管理に携わる者にとって有益な内容で、大変好評な講座となりました。様々な本の構造などの解説に始まり、修理用テープや糊の正しい使い方、ページを切るときの注意、高価な道具がなくても手近なものでも有効に補修する方法など、具体的なテクニックに至るまで、熱意をこめて説明してくださいました。また、「本をきれいに補修するのは何のため、誰のため」といった、本を扱う際の心構えに触れられた時には、田中氏の心意気がひしひしと感じられ実に説得力がありました。

なお今回は愛知総合工科高等学校の御厚意で、書画カメラを準備していただき、講師が実際に本の解体・修復を行う手元の様子を、前方のスクリーンに投影しながら、会場全体から見えるようにして実施できました。



(配布資料の一部)



おわりに

今回の第2回研究会を無事に終えることができたのも、暑い中ご準備くださった会場校の先生、お手伝いくださった名瀬地区役員の先生方のお蔭です。本当にありがとうございました。アンケートの結果を元に、時間帯など御意見を頂いた点を再考し、11月30日（水）の第3回研究会では、更に充実した会を企画したいと考えます。